

桜島の火山活動の状況等について

※これは速報値であり、数値等は今後も変わることがある。

平成 28 年 2 月 5 日
20 時 30 分 現在
内 閣 府

1. 火山活動等の概要（気象庁情報：2月5日19:13現在）

(1) 火山活動等の状況

- ・5日18:59 噴火速報発表（桜島で18:56頃、噴火が発生）
19:02 火山観測報発表
昭和火口で噴火が発生。有色噴煙（火口上2200m）。噴煙の流向南東。
- ・19:13 噴火警戒発表。噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲で大きな噴石及び火砕流に警戒が必要。

・桜島の昭和火口では、18:56に爆発的噴火が発生し、弾道を描いて飛散する大きな噴石が3合目（昭和火口から1.3km～1.8km）まで到達。
・風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意。爆発的噴火に伴う空振によって窓ガラスが割れるなどの恐れがあるため注意。

(2) これまでの経緯（内閣府調べ：2月5日20:00現在）

- ・桜島では、昨年11月25日以降、噴火警戒レベル2で維持されていた
- ・噴火警戒レベル2において、気象庁が示す警戒範囲は1km。ただし、地元の火山協議会で自主的に警戒範囲を2kmと設定。今回、レベル3引き上げにより地元自治体の防災対応が変更となるものではない。

<<参考1>>

- ・昨年8月15日、桜島ではレベル4に噴火警戒レベルを引き上げ（警戒範囲は3km）、51世帯77人が避難。 ※桜島の人口は2,078世帯 4,484人（平成27年7月1日現在）
- ・現状、警戒範囲が2km。圏内に住家は無く、立ち入り禁止が引き続き継続。

<<参考2>>

- ・火口から最も近い集落は「有村（ありむら）」（火口から2.4～2.5km）

2. 被害状況

- ・島内の被害がないことを確認、110番通報なし（警察庁 5日20:00）
- ・被害情報なし、119番通報なし（消防庁 5日19:55）
- ・居住区域について現時点で異常なし（消防庁 5日19:40）
- ・川内原子力発電所：異常なし（原子力規制庁：5日19:20）

3. 住民避難の状況（警察庁、消防庁情報 2月5日19:40）

- ・住民避難なし（予定なし）

4. その他の被害状況等

(1) ライフラインの状況

- ア 電力（経済産業省情報：2月5日 20:05 現在）
 - ・被害情報収集中
- イ ガス（経済産業省情報：2月5日 20:05 現在）
 - ・被害情報収集中
- ウ 水道（厚生労働省情報：2月5日 19:20 現在）
 - ・現時点で被害情報なし
- エ 通信・放送（総務省情報：2月5日 19:45 現在）
 - ・現時点で被害情報なし

5. 政府の主な対応

(1) 官邸の対応

- ・情報連絡室設置（2月5日 18:59）

6. 各府省庁の主な対応

(1) 内閣府の対応

- ・内閣府情報対策室設置（2月5日 19:13）
- ・内閣府防災ツイッター等により、国民への注意喚起を実施

2月5日 19時 02分

【噴火速報】5日 18時 56分頃、桜島で噴火が発生しました。周辺にいる方は、ただちに身を守る行動をとってください。

2月5日 19時 23分

【火山情報】5日 19時 13分、鹿児島県の桜島に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が発表されました。地元自治体等の登山禁止・入山規制等の指示に従い、危険な地域に立ち入らないでください。

(2) 警察庁の対応

- ・警察庁災害情報連絡室設置（2月5日 18:59）
- ・官邸に鹿児島県警察本部の屋上固定カメラの映像を配信
- ・桜島を管轄する鹿児島中央署員3名が桜島島内の警戒を実施中

(3) 消防庁の対応

- ・職員を増員し、情報収集体制を強化（2月5日 19:13）

(4) 防衛省の対応

- ・現時点で災害派遣要請なし

ア 情報収集態勢の強化

- ・ 陸上自衛隊 西部方面総監部（健軍）

イ リエゾンの派遣

- ・ 19:30、鹿児島地方協力本部（鹿児島）のL O（人員1名、車両1両）が鹿児島県庁に向け出発。

(5) 気象庁の対応

- ・ 記者会見（2月5日 20:30）

7. 関係地方公共団体の対応（内閣府調べ：2月5日 20:00）

(1) 鹿児島県の対応

- ・ 情報収集体制
- ・ 2月6日、県防災ヘリによる現地調査を実施予定
※鹿児島地方気象台、鹿児島井口京都大学防災研究所教授（火山噴火予知連絡会委員）搭乗予定

(2) 鹿児島市の対応

- ・ 情報収集体制